



(7)遂行上の問題点、取組課題（箇条書きで簡潔に記載）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大人の自覚のきっかけの場となる成人式への参加率のアップ</li> <li>・予算が伴わない実行委員独自の事業実施</li> </ul>

(8)改善実績（過去3年間の実績）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新成人の参加を得て、成人式を企画運営した。</li> <li>・式典後は、茶話会とし新成人の語らいの場を提供。</li> <li>・茶話会会場で看板を作成し、集合写真が撮影できる場所を提供。</li> </ul>

(9)業務の評価（自己診断）		
評価基準	評価の視点	五段階評価 (5～1点)
目的の達成状況	業務目的に対して、どの程度の成果が得られているか。	3 点
コストパフォーマンス	成果を上げるために投入してきた人的資源、財源は、適切であったか。	4 点
業務方法の最適採用	業務の円滑で効率的な実施に採用した方法・手法は業務の目的、取り巻く状況に対応して適切であったか。	3 点
住民の満足・信頼獲得	受益する住民の満足、行政に対する信頼は高められたか。	3 点
総合計画との整合	総合計画（基本計画）の方針に対応しているか。	- 点
他都市との比較	近隣の都市、類似団体に比べて業務の進み具合はどうか。	3 点
		平均 3.2 点

(10)総合評価（課の見解）	
今後の方向 （該当番号に○印）	①. 前年度と同じく、そのまま継続する。 2. 見直して継続（業務の拡大） 3. 見直して継続（業務の縮小） 4. 見直して継続（方法の改善） 5. 見直して継続（他業務と統合） 6. 廃止する。 7. 休止する。
評価理由	政治、社会について無関心といわれる若者が、長久手町民として自己の責任感と大人の自覚を持つための場として、公で祝うことは重要と思われる。

(11)今後の目標・改善方針（具体的かつ簡潔に記載。課の見解を記入すること）
開催意義が失われつつあるが、人生の節目を祝い両親等が共に喜び、また、式典に参加される方も増えつつあることから、新成人で構成する実行委員会の意見を取り入れながら長久手町らしい成人式を継続する。